

平成7年に鳥海山を取り囲む地域の青年会議所（酒田、鳥海、由利本荘、新庄、湯沢）が官民一体となった連携による地域づくりを目的に「環鳥海地域づくり研究会」を発足させた。翌年に『極楽鳥海人』（本ページ下段の写真ご参照）なる地域づくり冊子を発刊し、全国発信した。当初から国土交通省、周辺自治体の協力、支援を得られたことは、活動のパブリシティの高さと、我々の活動が極めて楽しかったからだと思う。

その後、庄内中央青年会議所も参加し、平成15年まで毎年各地域持ち回りで数々の事業を通じて産、官、学そして民、多くの“極楽鳥海人”たちと出会うことができた。

人にも地域にも何か一つ極めるものがある。だから連携していく必要があるし、その結果、新たな機能が発揮できるのではないか。そう考え、こんなに楽しい地域づくりを継続していくためにはどうしたらよいかと思いを巡らし、「NPO法人極楽鳥海人」設立の運びとなった。『極めて楽しく鳥海の周りに暮らす人の生き様』これが「極楽鳥海人」のコンセプトなのである。

平成17年3月、NPO法人として認証され、そこから「極楽鳥海人」を公益を目的とした継続して成長するための仕組み（企業でいうビジネスモデル）ができあがった。この仕組みを成立させ、目的達成のための統一性をもった施策の集合体が「極楽鳥海人」の経営戦略であり、「極楽鳥海」に代表される個別

戦略の集合体が我々のビジネスモデルと経営戦略になっている。「極楽鳥海人」の『人』の部分の漢字一つの別の文字で各部会の名称を表している。たとえば音楽部会では『極楽鳥海音』、酒部会では『極楽鳥海酒』などとなっている。

現在の活動のうち、主なものだけを紹介すると
青少年育成事業

酒田市内の小学校4校の総合学習を受託、不登校児童を受け入れ短期教育プログラムを実施など

広域観光政策事業

極楽鳥海酒をはじめ極楽鳥海ブランドの商品開発、

バリューサイト VALUE SIGHT

極めて楽しく鳥海の周りに暮らす人の生き様。浜、山、川での遊びを通じた真の故郷づくり

鳥海山をランドマークにして、環鳥海地域で暮らす人々、さまざまな特色ある地域が連携して楽しく地域づくりを行うNPO法人。鳥海山とそれを取りまく地域に魅せられた何やら楽しげな人々の活動は、精力的に展開されている。



IBEXエアラインズとの提携商品開発など

社会資本整備関連事業

道の駅情報センター改修計画、海洋センター改修計画（国、県、市の協議会を主導して設立）都市再生モデル調査（今年度の受託決定）、海洋センター地区でのイベント（計画中）など。

我々は活動を継続する自信がある。それは会員の組織に参加する目的が個々の趣味を生かすことにあるからである。そして楽しいことを行う。これ以上組織を維持する秘訣があるのだろうか。楽しいと楽（らく）なことは=ではなく、対価や見返りを必ずしも求めない組織の吸引力は“楽しさ”にほかならないと思う。

しかし、自己満足だけではなく対外的な信頼と信用を培うことが必要である。そのために、マーケッ

ディング戦略の一つであるブランド戦略を活動の基本方針において活動し、その手ごたえを感じてきている。我々はブランドを総合評価として捉え、この戦略によって自らを高めていこうと考えている。

「極楽鳥海人」の会員のほとんどはビジネスマンである。NPO法人の運営もビジネスの考え方で経営していくことは自然なことであろう。NPO法人の多くは経済価値で計ることのできる資産が無いか少ない。企業のように資産を運用し利益を目的とするものではないが、NPO法人においても財政的な基盤を強化することは必須条件である。公益事業の多くは、役

極楽鳥海人の目標 = 「楽しみながら地域おこし」
(極楽鳥海市民): 「極楽鳥海」のブランドづくり



鳥海山の周りで極めて楽しい生き方をする人々でまちづくり = 極楽鳥海市の形成

庄内

所がいろいろな問題の解決方法としてNPO法人と協働したり、委託したりすることが多くなってきているが、役所では金利や資金リスク軽減のためのコスト意識は仕組み的に乏しく、残念ながら多くの場合、NPO法人に参加している個人が骨身を削って耐えているのが現状である。

最近では金融機関にとっても地域貢献が重視されていると聞く。地域貢献を目的としたNPO活動に対しても、金融機関による支援を積極的に進めていただきたいと考える。ただし、その支援に際して、支援を行った公益活動が有用かつ有効か？ 支援する組織が信頼に値するものか？ リスク管理はできているか？ また、支援する側の地域貢献度が本当に高まるのか？ といった客観的な評価尺度が必要となっていることを十分認識する必要がある。

また、認定NPO法などによって、企業による認定NPOへの寄付は税制上優遇される。これは、公益活動を企業側でも評価し、選択できる新たな税の形だと考える。我々は、企業とNPOの連携によってシナジーを見出していくことが今後必要と考えている。



NPO法人極楽鳥海人
理事長

太田 薫



太田 薫 (おおた・かおる)

NPO法人極楽鳥海人 理事長。

遊佐町出身、47歳。

遊佐町で創業130年の瓦製造会社の4代目。鳥海山を望めるレコーディングスタジオ経営、遊佐町町会議員、レコーディングエンジニアなどを手がけている。趣味は、音楽で仲間と演奏して楽しんでいる。『一生人生修行中』がモットー。

NPO法人極楽鳥海人：

〒998-0043 酒田市本町1丁目6-6

酒田まちづくり開発(株) 川辺の館内

TEL 0234-21-8377・FAX 0234-21-8378

URL <http://www.gokuraku-chokai.com>